



清風

南砺市立上平小学校
学校だより
令和2年1月
上平小学校ホームページ
<http://kamitaira-e.el.tym.ed.jp>

夢をもつこと

校長 林 秀次

とやま・なんと国体2020の年、そして東京オリンピック・パラリンピックの年、令和2年を迎えました。

3学期の始業式では、子供たちに大きな夢や目標を抱いてほしいこと、夢に向かって努力する人を身近に感じることで、大きな夢を描くことができることを伝えました。子供たちは、とやま・なんと国体、東京オリンピック・パラリンピックに参加する選手や、見えないところで成功のために取り組んでおられる方々の姿から感動とともに大きなメッセージを受け取ることでしょう。また、夢を描かせてくれるのはスポーツだけではありません。この身近な平・上平地域の中には夢をもって努力してこられた方がたくさんおられます。子供たちがそのような身近な地域の方々との触れ合いからも、自分の夢を膨らませていくことを願っています。そして、地域の方々の姿やスポーツ選手の姿から、夢や目標をもつことによって信じられないほど自分を伸ばせること、困難や失敗があっても、あきらめずに努力することで、素敵な人生を歩んでいけることを感じ取ってほしいと願っています。

先日、平・上平地域の成人式に参加させていただき、成人された方々の思いを聞くことができました。地域のことを大切に考え、そして自分の夢に向かってそれを実現するために頑張っておられる様子がひしひしと伝わり、今の子供たちの将来の姿のように見えました。

上平小学校の子供たちが、夢をもってまっすぐに進んでいくことができるよう、職員一同、地域の皆様や保護者の皆様と手を取り合って取り組んでいきたいと考えております。本年もどうぞよろしくお願いたします。

わたしの学級の詩の楽しみ方

2年担任 荒木 裕治

「てのひらを太陽に」 やなせ たかし
ぼくらはみんな 生きている 生きているから 歌うんだ
ぼくらはみんな 生きている 生きているから かなしいんだ
てのひらを太陽に すかしてみれば まっかに流れる ぼくの血しお
みみずだって おけらだって あめんぼうだって
みんな みんな 生きているんだ ともだちなんだ

2年生は、国語科の時間に詩「てのひらを太陽に」の学習を行いました。音読をして楽しむ場面では、「おけらって何だろう?」「みみずやあめんぼうと並べて書いてあるから生き物だと思う。」等と子供たちが話し始めました。そこで、おけらの写真を見てみることにしました。「手がモグラみたい。」「おけらってコオロギみたいな体だね。」

「ちょっと怖いけど、同じ生きている仲間なんだね。」といった感想が聞かれました。

1枚の写真を通して詩の世界が少し広がったように思いました。

その後は、曲に合わせて歌って詩を楽しんだり、この詩の続きを作って楽しんだりして様々な形で詩に親しめた1時間となりました。